

居宅介護支援事業所

(老人介護支援センター)

☎ 0847-41-6222

事業開始日／平成12年4月1日

住所／広島県府中市土生町1636番地1

営業日：毎日 午前8時30分～午後5時30分（※元旦除く）

※職員不在の場合や上記以外の緊急時は、同敷地内にある府中静和寮本部事務所に転送されます。



喜びと笑顔を

みなさんひとしもに……

こんなお悩みはありませんか？

- 介護のことが話せる仲間がほしい。
- 相談にのってほしい。
- どこに相談したらいいのかわからない。
- 物忘れがすすみ気になる、どうしたらいいの？
- 介護保険サービスを利用したい！
- お金の管理がむずかしくなった！
- 介護が大変。誰かに話しを聞いてもらいたい！
- 介護の仕方がわからない！

居宅介護支援事業所とは

ご本人及びご家族の方のご依頼により、介護サービスや保健医療・福祉サービスなどを適切に利用することができるようサポートし、できるだけ自立したその人らしい“暮らし”を実現するお手伝いをさせていただくサービスです。

業務内容

- 介護を必要とされている方やご家族からの相談窓口（お電話、来所または訪問させていただきます。）
- 要介護認定申請の手続き代行
- ケアプラン（居宅サービス計画）の作成
- 介護サービスの利用調整や関係者間の調整
- 市町村、保健医療福祉サービスとの連絡調整
- 毎月1回以上ご自宅を訪問し、ケアプラン実施状況の把握や再調整
- 居宅サービス等利用時の苦情受付及びその対応
- 介護関係各種申請手続きのお手伝い etc…

ご本人、ご家族様の個人情報に関しては、
秘密保持に努めます。

分からないこと、疑問に思われることなど、
どうぞお気軽にご相談ください。

ケアマネジャーからの一言

「住み慣れた環境の中で最後まで生活を続けたい」、
「家族と一緒に暮らしたい」と皆様のご意向に沿えるよう、頑張っております。しかし、ご本人とご家族様の“思い”が異なる場合もあります。そのような場合に私たちは潤滑油として、お互いの“思い”を少しでも近づけることができるよう、日々努力しています。

みなさんの多くの喜びに出会えたときが、私たちの喜びです。「ケアマネジャーがいる事業所でなければサービスが使えないの?」「お世話になっているから、こんなことは言えないわ!」… そのようなことは考えず、何でもお気軽にご相談下さい。

私たちは、少しでもご本人、ご家族様が“自分らしさ”を失わず、喜びのある在宅生活が継続できるよう、お手伝いさせていただきたいと思っております。



ご利用者の声

母（夫の母）の認知症が進み、日中一人で留守番もできなくなりました。

私は今、仕事を辞める訳にもいかず、夫に相談するも相手にもされず、一人で悩んでいました。そんな中、知人から「静和寮に相談に行ってみたら…」と進められたので、私の思いを聞いて頂いたところ、すぐに自宅に訪問していただきました。

認知症の方への対応について教えてもらったり、介護サービスの利用につなげて頂いたことで、夫も私も母の認知症を少しずつですが、受け入れられるようになり、日々の母への声かけも変わってきました。

また、仕事を続けながら介護をすることができ、自分の時間も持てるようになり、相談してよかったとうれしく思っております。今では何かあったら、夫やケアマネジャーさんに相談したり、知人に話を聞いてもらったりして、一人で悩まないように心がけております。

老人介護支援センター (ランチ)とは

居宅介護支援事業とは別に、広島県府中市包括支援センターからの委託を受けて、要介護認定を受けておられない高齢者の方を対象に活動しております。

主な活動内容は

- 介護予防普及啓発事業
- 脳、長寿教室（認知症予防教室）
- いきいきサロンへの参加（依頼）
- 虚弱高齢者実態把握
- 夢ふろしきの会（静和寮独自の会です）

etc...

「夢ふろしきの会」って ご存知ですか？

夢ふろしきの会とは、府中静和寮老人介護支援センターが実施する独自の会です。介護保険の認定を受けておられない方を対象に開催する介護予防のための集いです。30名程度の方が自主参加で月に1回3時間ほど地域交流スペースを使って体操やゲーム・ものづくり・料理などを楽しんでいます。ボランティアさんの協力もあり笑顔や会話の絶えない会となっています。

